★ 提案 67 の賛成意見 ★

提案 67 号に賛成の投票をすることで、ごみを削減し、海洋と野生生物を保護し、清掃コストを削減しましょう。

使い捨てレジ袋は、私たちの公園、木や近隣地域、また河川、湖や海において最もよく見られるゴミの 1 つとなっています。賛成に投票することにより、私たちの山、谷、ビーチやコミュニティーから廃棄されたビニールを排除し、美しく保つことができます。同法により、州や地域コミュニティーは数千億ドルのごみ清掃費用を節約することができます。

ビニール袋は野生生物にとって致命的な脅威です。

「ビニール袋は毎日、野生生物を危険にさらしています。ウミガメ、ラッコ、アザラシ、魚や鳥たちの中には、ビニール袋に絡まったり、食べ物と間違えビニールが胃に入ってしまったため餓死するものもいます。提案 67 号は、私たちの海、湖、河川においてビニール袋を低減し、野生生物を保護するための常識的なソリューションです。」-Julie Packard、エグゼクティブ・ディレクター、Monterey Bay 水族館

提案 67 号へ賛成することにより、California 州はビニール袋の廃止に成功することができます。

賛成票により、議会が可決し知事が承認した、無駄な使い捨てレジ袋の拡散を停止する法律を守ることができます。この法律は、海洋、野生生物、消費者、および中小企業の保護にコミットしている団体からの強い支持を得ています。一旦有権者が提案 67 号を承認すると、これは州全体で実施されます。

多くの地域コミュニティーはすでにレジ袋を廃止しています。事実、ほぼ 150 地方都市や郡は使い捨てのビニール袋を禁止しています。これらの法律は、すでに成功を収めた例であり、コミュニティの中には使い捨ての袋 90 パーセント削減したところもあり、消費者からの強い支持も得ています。

州外のビニール袋会社は California 州での状況に反対しています。

この法律への反対運動は、州外の四大ビニール袋企業によって支援されています。彼らは、California 州がビニール袋の廃棄物に関してリーダーシップを取ることを望んでおらず、自己の利益を守るためにこの試みを挫折させようとしています。

彼らの偽りの主張を信じてはいけません。私たちは、すでに地域レベルで大きな成功を収めているレジ袋法に、CALIFORNIA 州レベルでのチャンスを与えるべきです。

California 州ビニール袋ごみ削減法を守るために提案 67 号に賛成しましょう。

JULIE PACKARD、エグゼクティブディレクター
Monterey Bay 水族館
JOHN LAIRD、委員長
California 州海洋保護協議会
SCOTT SMITHLINE、ディレクター
California 州資源再生・再利用推進部

★ 提案 67 の賛成意見に対する反論 ★

私たちは皆、環境を保護したいと考えています。しかし、提案 67 号は欺瞞です。

それは、レジにおいて紙製や厚手のプラスチック製レジ袋に最低 10 セントを支払うことを余儀なくされる California 州の消費者にとって年間 3 億ドルの隠されたレジ袋税です。

そして、一ペニーたりとも環境のために使用されません。

その代わりに、議会は 3 億ドル新しい袋税収のすべてを食料品店の利益として与えてしまいました。

年間 3 億ドルもです！

特別利益団体による談合を阻止しましょう。

特別利益団体のロビイストによって仲介されたこの談合によって、提案 67 号は年最大 3 億ドルの利益を食料品店にもたらします。

大手食料品店チェーンは新しい税収をすべて自分のものにします。

これでは、消費者の負担が増え、食料品店が毎年 3 億ドル分収入が増えるだけです。

だまされてはいけません：レジ袋禁止税の一ペニーたりとも環境保護のために使用されません。

議会は、新しい税収を環境保護に充てることもできましたが、彼らの目的は環境保護ではありませんでした . . . それは、食料品店や労働組合の利益を増大させることでした。

この措置は、食料品店が新しい税金を利益としてよいことを明確に定めています！

談合と隠された税金を阻止しましょう。

提案 67 号に反対の投票をしましょう。

DOROTHY ROTHROCK、代表
California 州製造業者および技術協会
THOMAS HUDSON、エグゼクティブディレクター
California 州納税者保護委員会
DEBORAH HOWARD、エグゼクティブディレクター
California 州シニア支持者連盟

本ページに印刷されている反対意見は、著作者の意見であり、公的機関によってその正確性については調査されていません。

★ 提案 67 の反対意見 ★

提案 67 号に騙されてはいけません。

それは、レジにおいて紙製や厚手のプラスチック製レジ袋に最低 10 セントを支払うことを余儀なくされる California 州の消費者にとって年間 3 億ドルの隠された増税です。

そして、1 ペニーたりとも環境のために使用されません。

その代わりに、議会は 3 億ドル新しい税収のすべてを食料品店の利益として与えてしまいました。

特別利益団体の談合を阻止し、. . . 提案 67 号を承認すると、これは州全体で実施されます。

レジ袋税を阻止しましょう

提案 67 号は、ビニール製レジ袋を禁止し、レジで提供される紙製または厚手のプラスチック製の再使用可能な袋に最低 10 セント課金することを要求します。

消費者は食料品店が無料で提供していたレジ袋を使用するために毎年 3 億ドル支払うことになります。

税収は食料品店、つまり特別利益団体のものになります

提案 67 号により、食料品店の利益が年に最大 3 億ドル増大します。

大手食料品店チェーンは税収をすべて自分のものにします。

これでは、消費者の負担が増え、食料品店が 3 億ドル分収入が増えるだけです。

レジ袋税の 1 ペニーたりとも環境保護のために使用されません

議会は環境保護のために新しいレジ袋税に取り組むことができました、しかしそうではありませんでした。

その代わりに、食料品店が新しい税収を留保することを要求したのです。

この特定の利益のためのレジ袋税を阻止しましょう

提案 67 号は食料品店の利益を増大させるために、Sacramento 特別利益団体のロビイストがでっち上げた談合です。

議会は SB 270 を可決しましたが、そのファインプリントに隠されていたのは、消費者に対するレジ袋税でした。買い物客は紙製や厚手のプラスチック製の再使用可能な袋 1 枚につき最低 10 セントを支払う必要があり、これらはすべて食料品店の利益になります。

談合と隠された税金を阻止しましょう

提案 67 号に反対の投票をしましょう。

DOROTHY ROTHROCK、代表
California 州製造業者および技術協会

THOMAS HUDSON、エグゼクティブディレクター
California 州納税者保護委員会

DEBORAH HOWARD、エグゼクティブディレクター
California 州シニア支持者連盟

★ 提案 67 の反対意見に対する反論 ★

提案 67 号に賛成の投票をすることで、California 州におけるレジ袋禁止を前進させることができます。とても簡単なことです。

Texas 州や South Carolina 州のビニール袋企業から報酬をうけてた、環境を保護するなどという誤解を招く反対運動に騙されないでください。使い捨てのビニール袋を廃止することは、California 州に大きなメリットをもたらします。

これらの袋は野生生物を殺し、海洋を汚染し、リサイクル施設を破壊し、清掃に多大なコストのかかるゴミを生み出します。

California 州中の多くの地域コミュニティーはすでにレジ袋を廃止し、このイニシアチブの前進を支持しています。

「産業界の偏見を信じてはいけません！ . . . 買い物客は 10 セントの紙製または再使用可能なビニール袋を買う代わりに、自分の袋を持ってくればいいのです。」—Los Angeles Times 編集委員会

「私たちの店のような、California 州中の地域の食料品店は提案 67 号を承認すると、これは州全体で実施されます。私たちの地域コミュニティーでは、使い捨てビニール袋の禁止は非常に上手くいっています。お客様は自分の再使用可能な袋を持参し、不要なプラスチックゴミを減らせることを嬉しく思っています。これは小規模の小売店や消費者には良いことです。」—Roberta Cruz、La Fruteria Produce

「California 州は、ビニール袋メーカー、特に州外のメーカー達が考えているよりも利口ですよ。」—Sacramento Bee 編集委員会

提案 67 に賛成の投票をし、プラスチックゴミと廃棄物の廃止における California 州の成功を保護してください。

DOLORES HUERTA、共同設立者
ユナイテッド・ファーム・ワーカーズ

SAM LICCARDO、市長
San Jose 市

MARY LUÉVANO、コミッショナー
California 州沿岸コミッショナー